

高根沢町新庁舎整備検討委員会 議事録

会議名	第10回 高根沢町新庁舎整備検討委員会
日時	令和5（2023）年10月26日（木）15：00～15：45
場所	高根沢町役場第3庁舎1階 大会議室
出席者	<p><b>【委員】</b>            佐藤栄治、小林修、佐藤永倫、山本容子、山崎康之、見目智史            小林信江、横田孝夫、加藤正秋、栗橋幸子、五月女昌寛            櫻井典子、軽部守人            （※欠席：牧恒男、笹崎明久、檜山武郎、稲葉和彦、寺内明日美、二宮絵美）</p> <p><b>【事務局】</b>            石嶋課長、國友課長補佐、大貫係長、松山主事</p> <p><b>【オブザーバー】</b> ※梓・AIS・八千代エンジニアリング共同事業体            阿部光伸、飯塚進太郎、石野順、田村加奈子</p>
傍聴人数	0人（非公開のため）
内容	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>（1）新庁舎整備に係る町民広場内公共施設のあり方検討委員会            （以下：あり方検討委員会）の検討状況について            事務局より資料に基づいて説明を行った。</p> <p>&lt;質疑等&gt;</p> <p>委員：福祉センターが検討対象施設に含まれていないのはなぜか。            事務局：福祉センター及び保健センターは新庁舎への複合化等について検討を進めている施設である。一方、あり方検討委員会は町民広場内の社会教育施設を対象としているため検討対象から除いている。</p> <p>委員：福祉センターは新庁舎に集約する施設という認識でよいか。            事務局：集約化・複合化の可能性について引き続き本委員会で検討を行っていく予定である。</p> <p>委員：あり方検討委員会の中問答申はいつ頃を予定しているのか。            事務局：11月中を目処としている。</p> <p>委員：福祉センターと保健センターは竣工後40年以上経過しているのか。            事務局：昭和62年頃竣工のため、40年弱である。</p> <p>委員：新庁舎整備検討委員会では、あり方検討委員会で検討している社会教育施設についても検討を進めなければならないのか。</p>

事務局：新庁舎整備検討委員会はいくまで新庁舎整備基本計画に関係する事項について検討を行っていく。

しかし、新庁舎建設予定地は町民広場内となる可能性があること、町民広場内の社会教育施設についても、検討の結果によっては整備の可能性があることを踏まえると相互に関連性があるため、あり方検討委員会での協議状況は、事務局から適宜情報提供を行っていく。

委員：あり方検討委員会での検討の結果によって、新庁舎整備の時期に併せた社会教育施設の整備があるか否かが決まってくるため、あり方検討委員会において社会教育施設の存続・廃止等の方針の検討が進むことで、新庁舎整備検討委員会においても配置計画・整備計画等の検討が進められるという認識でよいか。

事務局：認識のとおりである。

委員：あり方委員会での検討の結果、新庁舎整備の時期に併せて町民広場内に新しく社会教育施設を整備するとなった場合は別途委員会を設置し、整備に係る検討を行っていくのか。

事務局：新庁舎整備の時期に併せて新しい施設を整備するとなった場合は、引き続きあり方検討委員会でのその施設の整備に係る基本計画の策定について検討を行っていくこととなる。

委員：新庁舎整備の時期に併せて新しく社会教育施設の整備を実施する場合、新庁舎の建設時期と重なるのか。

事務局：全体スケジュールは、現時点で未定である。

委員長：新庁舎と社会教育施設を同時期に整備する場合、両方の施設の整備業務を一括発注とするか、施設ごとに発注するかによって全体の配置計画や建設計画のイメージが異なってくるので、よく検討してほしい。

## (2) 中間答申について

事務局より資料に基づいて説明を行った。

<質疑等>

委員長：中間答申のイメージはこれまでの検討の経緯や各候補地の条件を比較した結果により、新庁舎の建設予定地として町民広場が優れているということを伝えるという認識でよいか。

事務局：認識のとおりである。また、これまでの候補地比較に係る経緯を含めて作成予定である。

委員長：委員会として町民広場を建設予定地とする中間答申を行うこととしてよいか。

委員全員：異議なし。

(3) 高根沢町新庁舎整備基本計画について

事務局より資料に基づいて説明を行った。

質疑等は特になし

(4) その他の事項

事務局より令和5年10月25日に町議会から町へ提出された「高根沢町新庁舎整備基本計画に対する提言書」、「高根沢町新庁舎建設に向けた議会施設に関する意見書」に関する情報提供を行った。

<質疑等>

委員：提言書・意見書ほどの程度重要視するものなのか。参考程度なのか、全部実現させなければならないものなのか。

事務局：記載内容の確認も含めて、今後議会と調整していくことになるだろう。

委員：現在建設資材が高騰しているため、設備については必要最低限のもので整備していくことで、建設費用の縮減を図っていくことも必要ではないか。

3 その他

次回の検討委員会は11月8日（水）に開催予定であることを伝えた。

4 閉会